

平成 29 年 6 月 6 日現在

機関番号：15401

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2014～2016

課題番号：26370538

研究課題名(和文) 宋版一切経東禅寺版附載音釈に関する基礎的研究

研究課題名(英文) Basic study on on-syaku in the Tozen-ji edition of the Song Canon.

研究代表者

佐々木 勇 (SASAKI, Isamu)

広島大学・教育学研究科・教授

研究者番号：50215711

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,400,000円

研究成果の概要(和文)：醍醐寺蔵宋版一切経東禅寺版の目録を出版することができたのは、大きな成果であった。

また、醍醐寺以外に保存されている宋版一切経の音釈を中心とした調査をも進めることができた。その結果、宋版一切経の音釈は、日本でもそのまま書写・印刷されることがあることがわかった。さらに、宋版一切経の音釈が、日本の古辞書・音義に直接の影響を与えていることもわかった。

研究成果の概要(英文)： It was a big outcome that it was possible to publish a catalog of Daigo-ji Sung Canon Touzenji edition.

It was also possible to advance the investigation which made onshaku of the Sung Canon Touzenji edition besides Daigo-ji.

研究分野：日本語史

キーワード：宋版一切経 東禅寺版 音釈 反切 同音字 類音字注 中国漢字音 日本漢字音

1. 研究開始当初の背景

申請者は、2007年～2013年の6年間、科学研究費による調査によって、醍醐寺蔵宋版一切経東禅寺版に直に接した。その調査の中で、宋版東禅寺版から始まり開元寺版に引き継がれ、思溪版以降の帖末音釈にも受け継がれた、東禅寺版の函別音釈帖に強く興味を持った。

600函を超える経函のほとんどに、函別の音釈一帖が附載されているのであり、その音釈帖に記されている反切・字体注・義注等が、東アジアの文化に及ぼす影響を与えたのかを知りたい、と考えるようになった。

2. 研究の目的

「宋版一切経東禅寺版附載音釈に関する基礎的研究」と題した本研究の目的は、北宋末～南宋初に印行された宋版一切経東禅寺版に附載の函別音釈の実態を明らかにし、その出典および日本の古文献への影響を解明することであった。

3. 研究の方法

目的達成のため、東禅寺版宋版一切経の現存本のうち最もまとまった遺品である醍醐寺蔵本における附載音釈の音注を正確に記述し、今後の宋版一切経附載音釈研究の基礎資料とした。それとともに、その音注の出典、および日本への影響について考察を加えた。

4. 研究成果

醍醐寺蔵宋版一切経東禅寺版の目録を出版することができたのは、大きな成果であった。この目録によって、醍醐寺蔵宋版一切経の価値がいちだんと評価され、醍醐寺蔵宋版一切経は、国の重要文化財から、今年度の国宝へとなったことは、研究に携わった者としても、喜びであった。

□宋版一切経東禅寺版音釈反切の出典

および日本の古文献への影響を解明することであった。

本研究の結果、宋版一切経の付載音釈の音注は、中国宋代の音韻を反映していることが判明した。隋代・唐代の音義・辞書・韻書の反切・同音字注を引用したものではないことがわかった。

宋版一切経東禅寺版音釈反切の日本への影響

また、宋版一切経の付載音釈は、日本でもそのまま書写・印刷されることがわかった。

具体的には、鎌倉時代初期に鎌倉の大仏に奉納された『大般若経』、鎌倉後期に印刷された春日版五部大乘経、室町時代初期に書写された尊氏発願書写一切経、応永十九年に書写された北野社一切経などである。

さらに、宋版一切経の音釈が、日本の古辞書・音義に直接の影響を与えていることもわかった。たとえば、高山寺蔵『新訳華嚴経音義』鎌倉初期写本である。

□醍醐寺以外の宋版一切経音釈の調査

加えて、醍醐寺以外に保存されている宋版一切経の音釈を中心とした調査を進めることができた。

□宋版一切経東禅寺版附載音釈データベース

これらの調査・研究の基礎資料である宋版一切経東禅寺版附載音釈をデータベース化する入力作業も進行中である。

なお、本研究は、そのすべてを研究代表者である佐々木 勇が行なった。

その具体的な成果は、以下に示すとおりである。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計17件)

1. 佐々木 勇, 春日版「五部大乘経」本文と底本選択理由, 日本古写経研究所研究紀要, 第2号, 査読有, 2017, pp. 1-10,

2. 佐々木 勇, 慈光寺蔵『大般若波羅蜜多経』平安後期字音点, 慈光寺所蔵「大般若経(安倍小水麻呂願経)」の調査と研究, 査読無, 2017, pp. 21-33,

3. 佐々木 勇, 新訳『大方廣佛華嚴経』音読史における喜海撰『新訳華嚴経音義』の音注, 訓点語と訓点資料, 第136輯, 査読有, 2016, pp. 11-22, <http://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/00039734>

4. 佐々木 勇, 足利尊氏発願一切経の底本, かがみ, 第 46 号, 査読有, 2016, pp. 1-25
5. 佐々木 勇, 宋版の注文から作成された日本文献 高山寺蔵喜海撰『新訳華嚴経音義』, 国語と国文学, 第 93 卷 5 号, 査読有, 2016, pp. 86-98
6. 佐々木 勇, 広島大学新収石山寺本『玄心一切経音義』卷第十承安五年写本, 国文学攷, 第 230 号, 査読有, 2016, pp. 1-13. <http://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/00040605>
7. 佐々木 勇, 鎌倉時代における「五部大乘経」構成経の転換に見られる宋版一切経の影響, 鎌倉遺文研究, 第 38 号, 査読有, 2016, pp. 85-100
8. 佐々木 勇, 春日版『五部大乘経』の底本とされた宋版一切経(二) 本文の比較による検討, 広島大学大学院教育学研究科紀要, 第二部第 65 号, 査読無, 2016, pp. 1-10, <http://doi.org/10.15027/41641>
9. 佐々木 勇, 宋版一切経思溪版の版式転換 一紙六面から一紙五面へ, いとくら, 第 10 号, 査読有, 2015, pp. 7-8, https://icabs.repo.nii.ac.jp/?action=pages_view_main&active_action=repository_view_main_item_detail&item_id=347&item_no=1&page_id=13&block_id=17
10. 佐々木 勇, 親鸞聖人の漢字音に見られる諸相, 真宗学, 第 132 号, 査読有, 2015, pp. 106-125, <http://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/00036952>
11. 佐々木 勇, 鎌倉時代における呉音の諸相 親鸞遺文を資料として, 論叢国語教育学, 第 11 号, 査読無, 2015, pp. 34-40, <http://doi.org/10.15027/39856>
12. 佐々木 勇, 日本漢字音の学習史と漢字音教育, 日本語教育研究, 第 33 輯, 査読有, 2015, pp. 7-15, <http://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/00039907>
13. 佐々木 勇, 尊氏願経と宋版一切経思溪版, MUSEUM, 第 659 号, 査読有, 2015, pp. 29-41
14. 佐々木 勇, 春日版『五部大乘経』の底本とされた宋版一切経(一) 刻記の比較による検討, 広島大学大学院教育学研究科紀要, 第二部第 64 号, 査読無, 2015, pp. 1-9, <http://doi.org/10.15027/38981>
15. 佐々木 勇, 玄應撰『一切経音義』卷第五における本文と目録との経名不一致について, 訓点語と訓点資料, 第 133 輯, 査読有, 2014, pp. 50-70, <http://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/00036124>
16. 佐々木 勇, 坂東本『教行信証』引用「日蔵経」「月蔵経」の依拠本について, 仏教史学研究, 57 卷 1 号, 査読有, 2014, pp. 43-59
17. 佐々木 勇, 宋版一切経東禅寺版に五部の一紙が挿入された理由, 広島大学大学院教育学研究科紀要, 第二部第 63 号, 査読無, 2014, pp. 1-9, <http://doi.org/10.15027/36664>
- [学会発表](計 6 件)
1. 佐々木 勇, 根津美術館蔵春日若宮『大般若波羅蜜多経』の訓点について, 華嚴石経・義天録 DB・春日若宮大般若 報告会, 招待, 2017 年 03 月 13 日, 国際仏教学大学院大学日本古写経研究所(東京都)
2. 佐々木 勇, 書写一切経から版本一切経へ 宋版一切経の日本への影響, 日本語学会シンポジウム 文献資料の最前線 原本・出版・デジタル, 招待, 2016 年 10 月 30 日, 山形大学(山形市)
3. 佐々木 勇, 今なぜ古文献の原本調査が必要か, 広島市立図書館・広島大学図書館連携事業講演会「日本と中国:文化と外交の歴史を考える」, 招待, 2015 年 12 月 13 日, 広島市立中央図書館(広島市)
4. 佐々木 勇, 新訳『大方廣佛華嚴経』音読史における喜海撰『新訳華嚴経音義』の音注, 国際仏教学大学院大学 平成 27 年度公開研究会, 2015 年 11 月 07 日, 東京大学山上会館(東京都)
5. 佐々木 勇, 春日版「五部大乘経」本文と底本選択理由, 訓点語学会研究発表会, 2015 年 11 月 08 日, 国際仏教学大学院大学春日講堂(東京都)

ナシ

()

6. 佐々木 勇, 日本漢字音の学習史と漢字音教育, 韓国日語教育学会, 招待, 2015年04月25日, ソウル(韓国)

〔図書〕(計1件)

小林芳規・佐々木 勇ほか, 醍醐寺蔵宋版一切経目録, 汲古書院, 2016年, 全4304頁

〔産業財産権〕

出願状況(計 0件)

名称:
発明者:
権利者:
種類:
番号:
出願年月日:
国内外の別:

取得状況(計 0件)

名称:
発明者:
権利者:
種類:
番号:
取得年月日:
国内外の別:

〔その他〕

ホームページ等

6. 研究組織

(1) 研究代表者

佐々木 勇 (SASAKI ISAMU)
広島大学・大学院教育学研究科・教授

研究者番号: 50215711

(2) 研究分担者

ナシ

()

研究者番号:

(3) 連携研究者

ナシ

()

研究者番号:

(4) 研究協力者